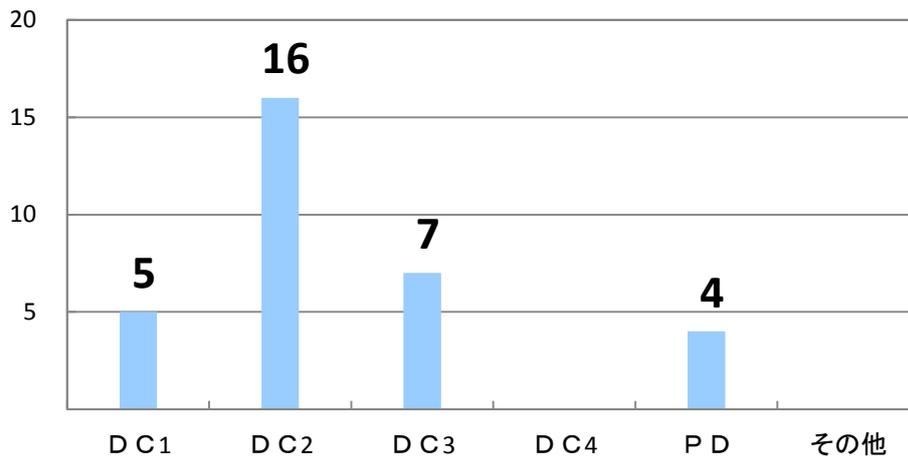


H25年度 第1回赤い糸会&緑の会 アンケート(研究者・企業)

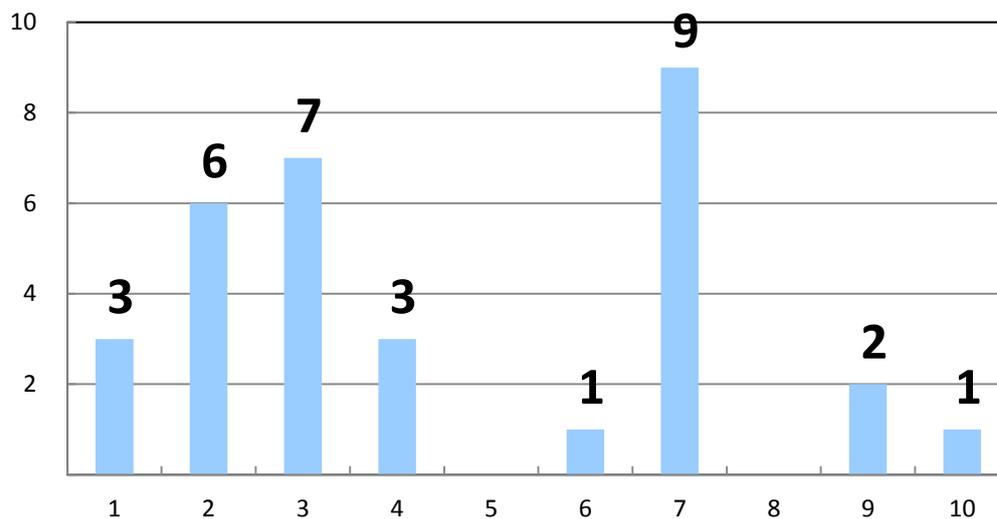
[1] 回答者数:研究者33名・企業27名

学年(研究者)

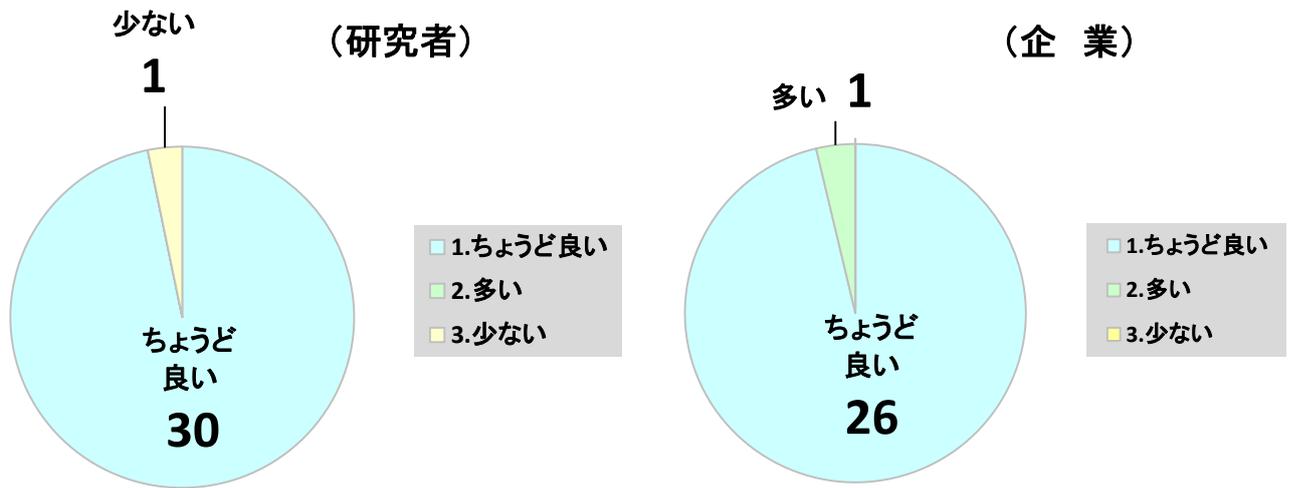


所属(研究者)

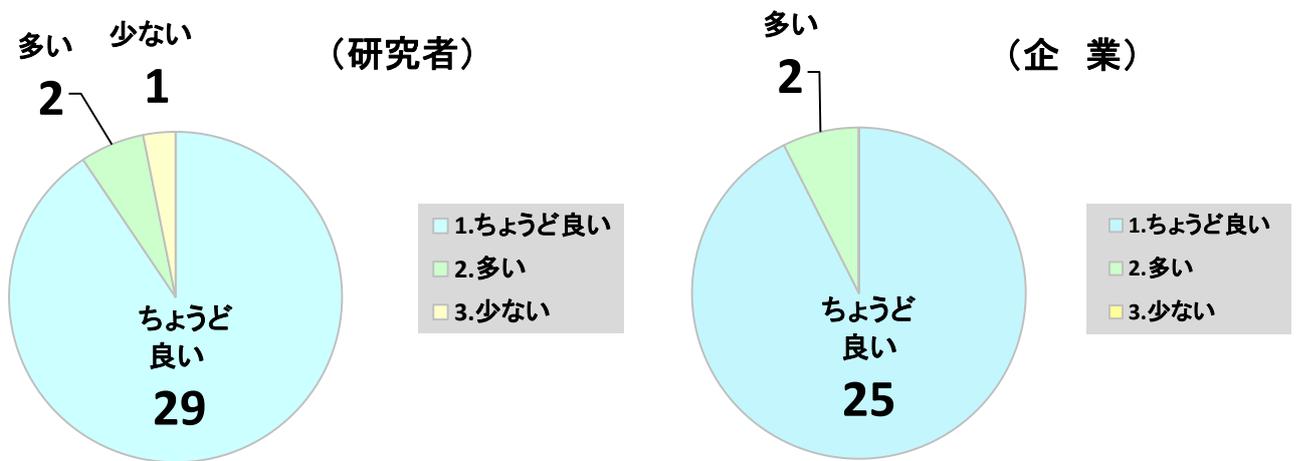
1. 理学院/理学研究院
2. 生命科学院/先端生命科学研究院
3. 農学院/農学研究院
4. 工学院/工学研究院
5. 環境科学院/地球環境科学研究院
6. 情報科学研究科
7. 総合化学院
8. 水産科学院/水産科学研究院
9. 医学/歯学/獣医学/薬学/保健科学
10. その他



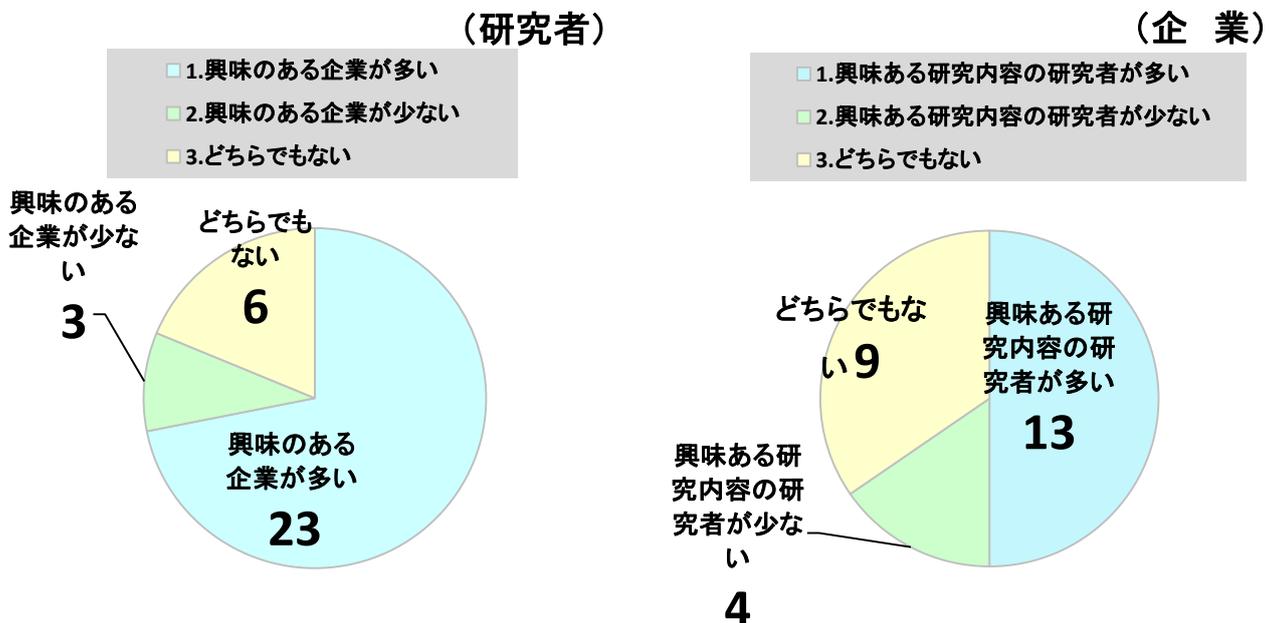
[2] 参加企業数について



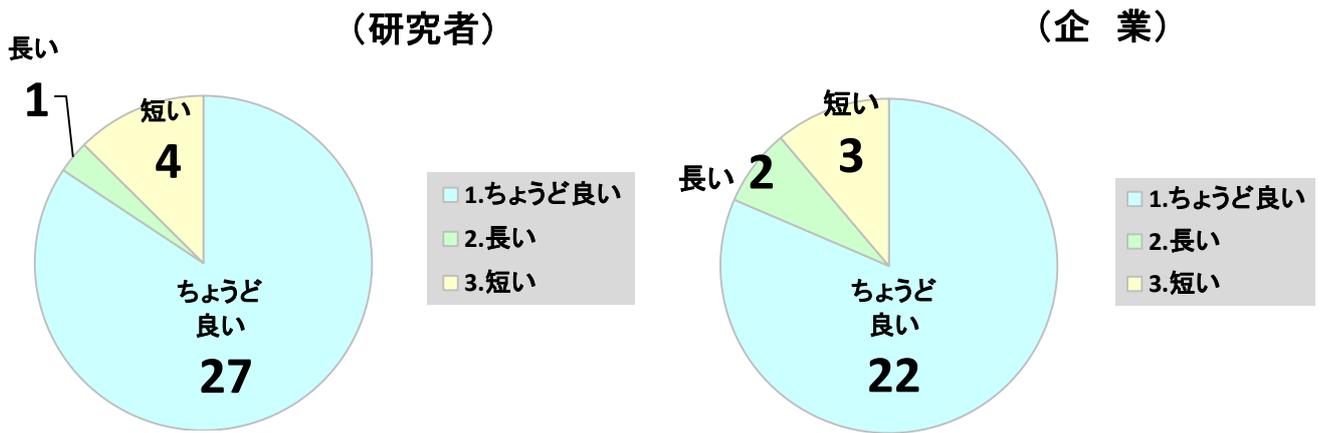
[3] 参加研究者数について



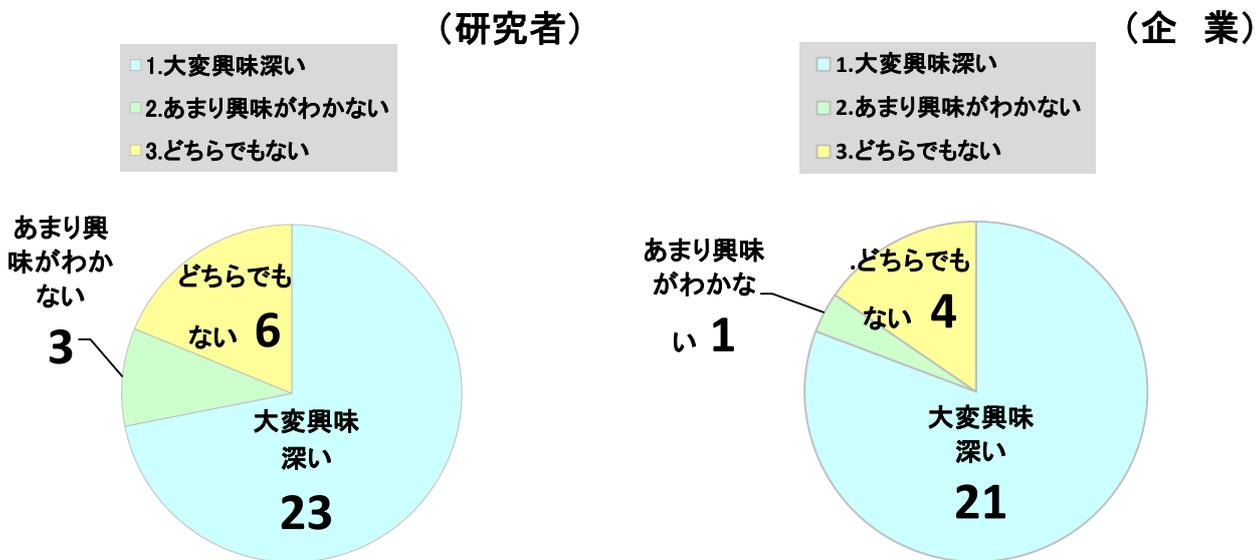
[4] 参加企業/研究者について



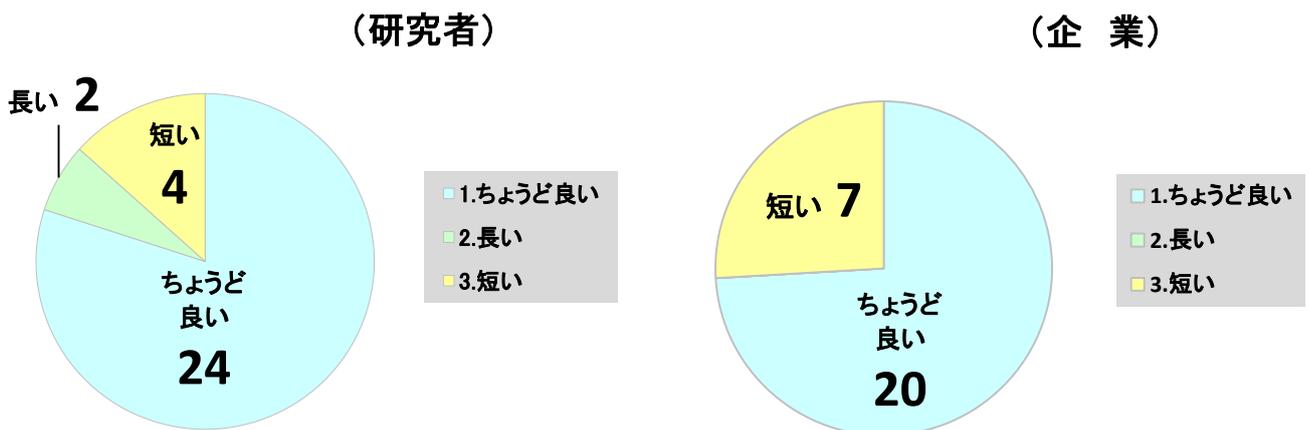
[5]企業発表の時間について(1企業あたり)



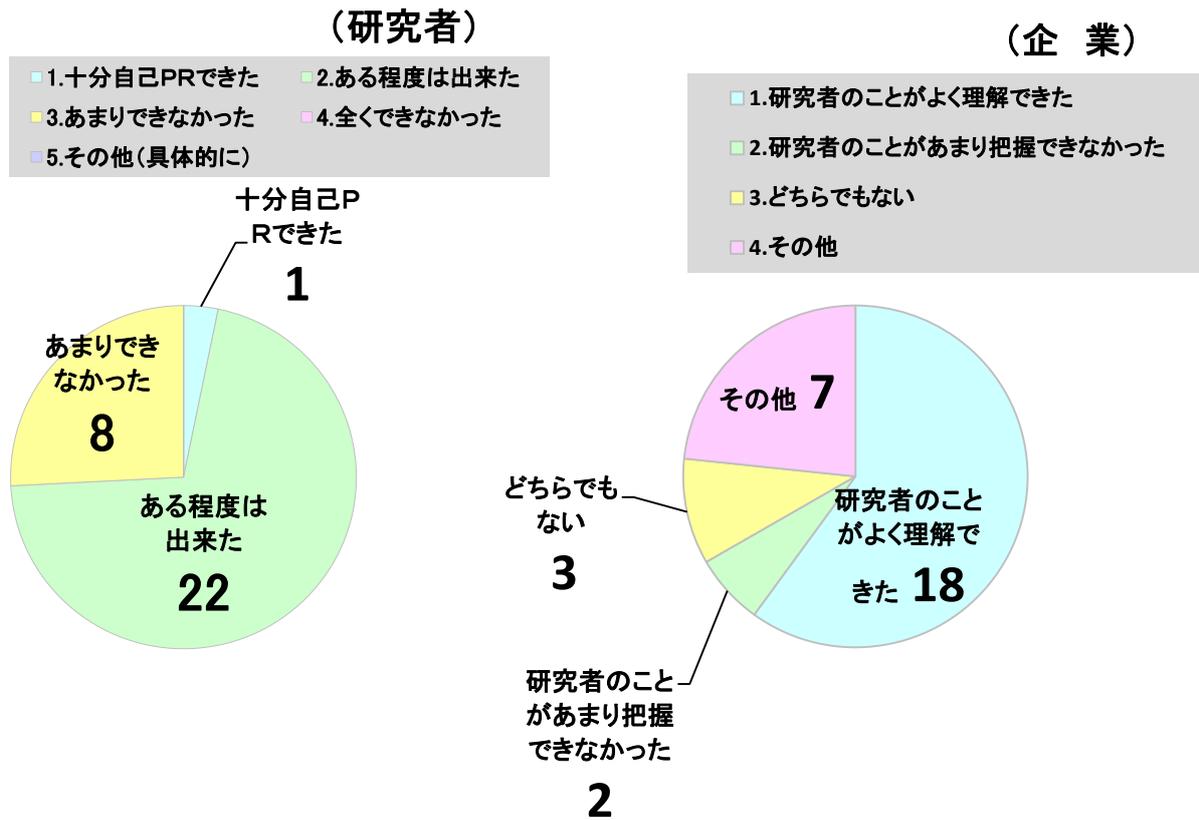
[6]企業発表/研究者ポスター発表の内容について



[7]ポスターセッションの時間について



[8] ポスターセッションでの自己PRについて(研究者)/
ポスターセッションを通して、研究者への感想(企業)



※その他(企業)

- ・ ヤル気の伝わるコミュニケーションが多かった。
- ・ 自己PRが非常に長い学生がいた。
- ・ いきなり研究のプレゼンをされても理解できない。質問に対して答えられるようにしてほしい。
- ・ 少し自己アピールが強かった。もっとフラットに話せると良かった。
- ・ 限定的な方々に対して「1」
- ・ 何に軸を置いているのか、それをどう活かしているのかアピールしてほしいです。
- ・ まずは研究中心にお話いただきたい。

[8-1] ポスターセッションについて今後へ向けて一言

(良かった点、改善したい点、期待することなど)(研究者のみ)

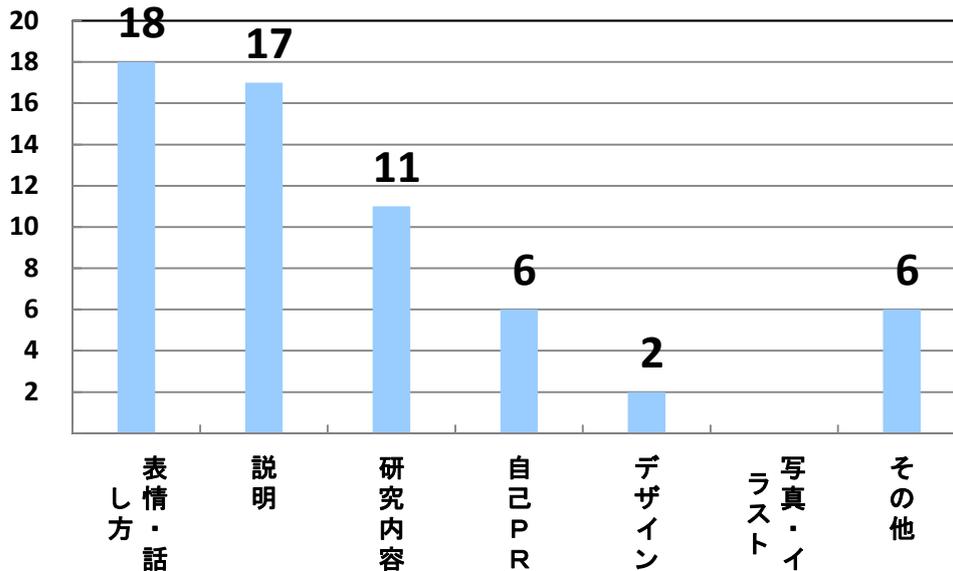
(研究者)

1	自分の研究の独自性をアピールしたい。
2	もう少し自分の研究の将来性をアピールすることをしたい。
3	簡潔に説明すべき。
4	研究の内容を知っている方と全くそうでない(専門外)の方で、話す内容をしっかり変える必要があると感じた。また発表前にそれを確認しておく必要があると感じた。
5	どこまでアプローチ、売り込んでいいのかが分からず、手さぐりになってしまった点をどうしたら良かったか反省したいです。
6	データを省略し、強みなどを書いたのが良かった。2回目だったので、前より楽にできた。
7	がんばります。
8	度胸が大事だということがわかったので生かしたい。
9	企業の方からアドバイスをいただけた点が良かったです。
10	発表の簡略化と積極性に欠けた。
11	発表時間がやや長かったのもう少しスムーズに説明できるよう改善したい。
12	もう少し積極的にアピールするべきだったと思う。
13	もっとわかりやすい内容にしていきたい。
14	PRがむずかしいです。
15	自己アピール力が不足していると感じた。
16	もう少し準備をしてくれば良かった。
17	自己PRの準備不足、企業についての下調べが不足だった。
18	ポスターをもう少し企業の方が興味ある項目を入れて作れば良かったと反省した。
19	多分野の方に短く伝えるような研究説明をしたい。

[9]ポスターセッションで注目する点はどこですか？(複数回答可)(企業のみ)

1. 発表者の表情・話し方 2. 発表者の説明 3. 研究内容 4. 自己PR 5. ポスターのデザイン
6. 写真やイラスト 7. その他

(企業)



※その他

- ・ まず、研究者、社会人としての成熟度に着目する。
- ・ 研究の社会的意義をわかり易く説明する能力
- ・ 受け応え、アドリブ力
- ・ 研究背景、苦勞した点
- ・ 主体性、オリジナリティー、発想力
- ・ 将来の夢

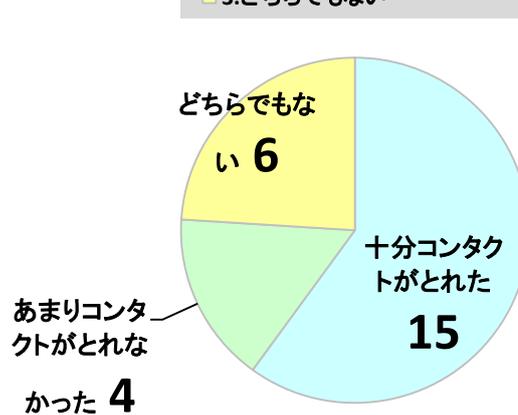
[10]企業/研究者とのコンタクトについて(ポスターセッション、個別交流、懇談会)

(研究者)

(企業)

- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. ある程度はとれた
- 3. あまりとれなかった
- 4. 全くとれなかった
- 5. その他(具体的に)

- 1. 十分コンタクトがとれた
- 2. あまりコンタクトがとれなかった
- 3. どちらでもない



[10-1] 企業とのコンタクトについて、今後へ向けて一言
(良かった点、改善したい点、期待することなど)(研究者のみ)

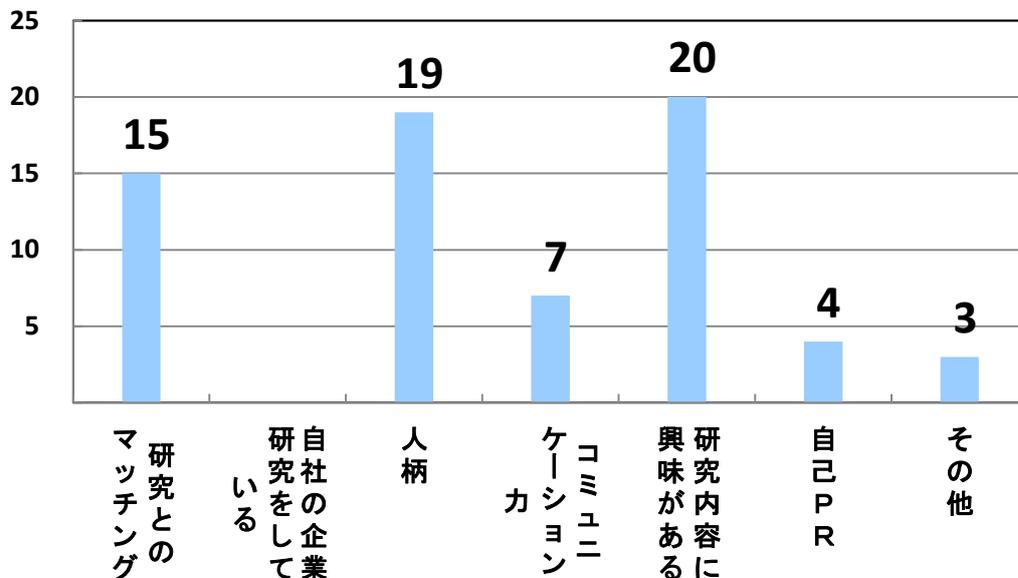
(研究者)

1	適格な質問ができなかった。意図がすぐに伝わるような質問をしたい。
2	質問の仕方が上手くなった(答えられないことを間接的に誘導する等)
3	自信をもって自己アピールできるようにする。
4	事前に企業について調べておき、質問したいことを整理しておく必要があると思った。
5	どこまでアプローチ、売り込んでいいのかが分からず、手さぐりになってしまった点を反省したいです。
6	興味のある企業が多かったのが楽しかった。何を聞いたか忘れないようにしないと、と思った。
7	時間が短い、もう少し強制的に移動させても良いと思う。
8	もう少し企業の方と自然に話せるようになりたい！
9	過去最多の方々和交流できた。
10	かなり詳しい話が聞けた。そのため他社と比べて違いがあいまいだった部分が多く解消された。
11	化学メーカーの企業がもっと多ければいいと思います。
12	質問を考えずにブース訪問してしまったのが悔やまれる。
13	質問を考える余裕がなかった。
14	下調べ不足だった。
15	イスの配置など、ブースの置き方をもう少し工夫すれば、対応が密になると感じた。

[11]研究者とのコンタクトで重要視する点はどこですか？(複数回答可)(企業のみ)

1. 自社の研究内容とのマッチング
2. 自社の企業研究をしている
3. 研究者の人柄
4. 研究者のコミュニケーション力
5. 研究者の研究内容に興味を持てる
6. 自己PR
7. その他
8. 未回答

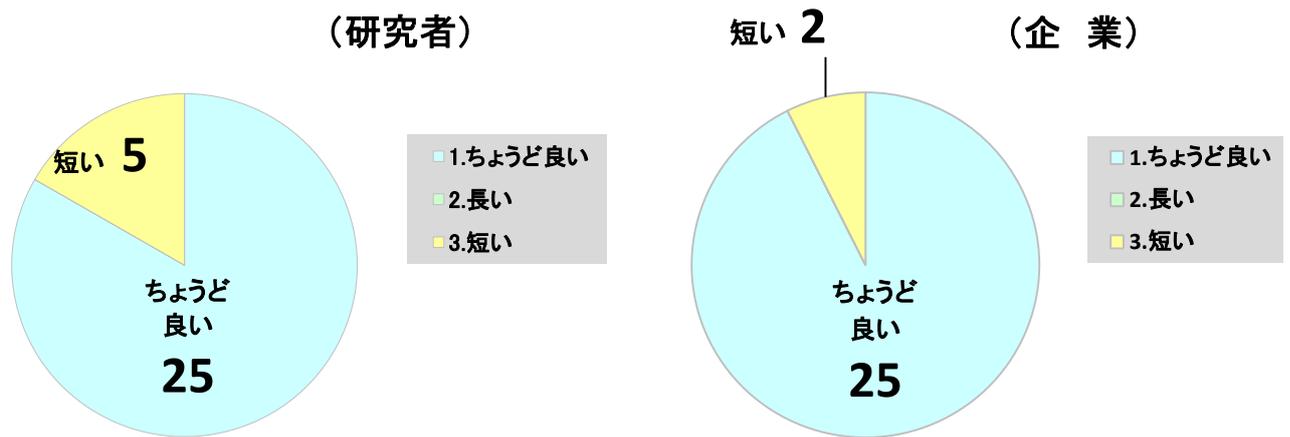
(企業)



※その他

- ・ 自分の持つスキル、経験、専門知識と、その企業のコア技術への貢献のマッチングをはかる機会であると思っている。学生さんにもその意識で臨んでいただきたい。
- ・ 資質面、チャレンジや粘り強さ、説明や説得する力
- ・ 会社に入って何をしたいのか。質問もそれに応じた形でされると答えやすいです。

[12]個別交流(DC・PDによる企業ブース訪問)の時間について

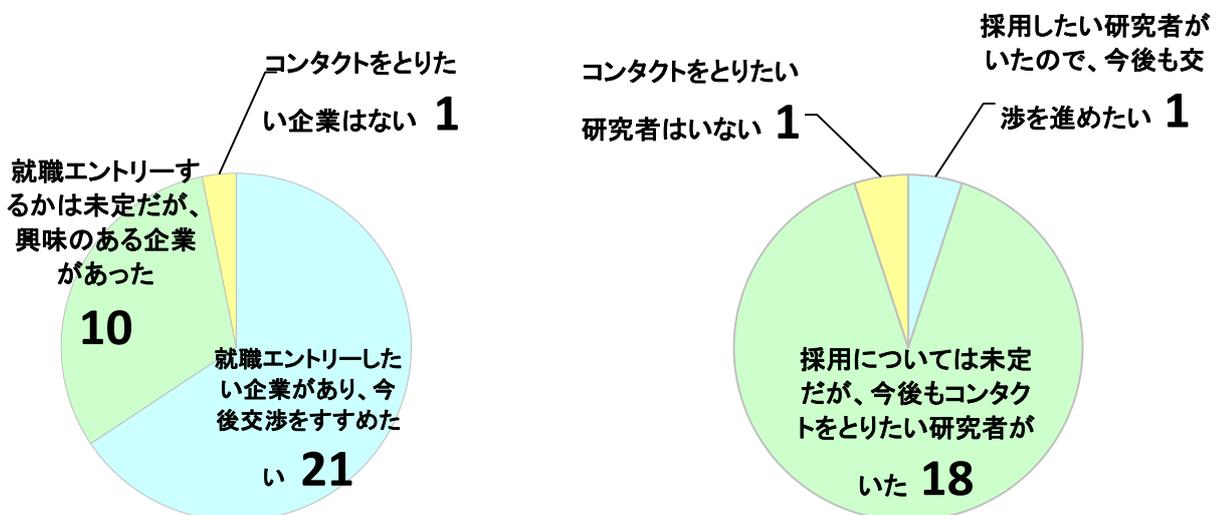


[13]「赤い糸会&緑の会」参加企業/研究者に対する今後の対応をお聞かせ下さい

(研究者)

(企業)

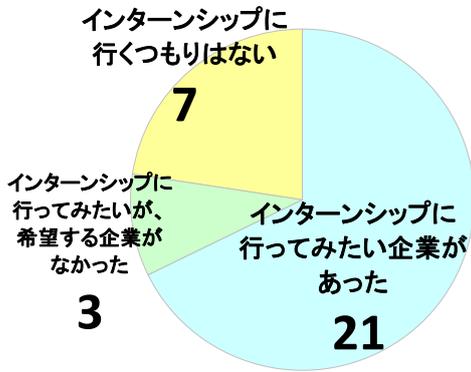
- | 研究者 | 企業 |
|--------------------------------|------------------------------------|
| 1. 就職エントリーしたい企業があり、今後交渉をすすめたい | 1. 採用したい研究者がいたので、今後も交渉を進めたい |
| 2. 就職エントリーするかは未定だが、興味のある企業があった | 2. 採用については未定だが、今後もコンタクトをとりたい研究者がいた |
| 3. コンタクトをとりたい企業はない | 3. コンタクトをとりたい研究者はいない |



[14] インターンシップについて(研究者)/DC・PDのインターンシップ(3ヶ月位)(企業)

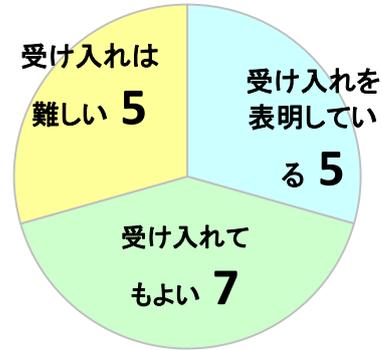
(研究者)

- 1. インターンシップに行ってみようと思った企業があった
- 2. インターンシップに行ってみようと思ったが、希望する企業がなかった
- 3. インターンシップに行くつもりはない



(企業)

- 1. 受け入れを表明している
- 2. 受け入れてもよい
- 3. 受け入れは難しい



※(受け入れてもよい)企業名

- ・ (株)神戸製鋼所
- ・ (株)マルハニチロHD中央研究所

※(受け入れは難しい)理由

- ・ 秘密保持の観点から。
- ・ 既存のポスドク研究院制度との区別が必要なため。
- ・ 今後実施を検討していく。

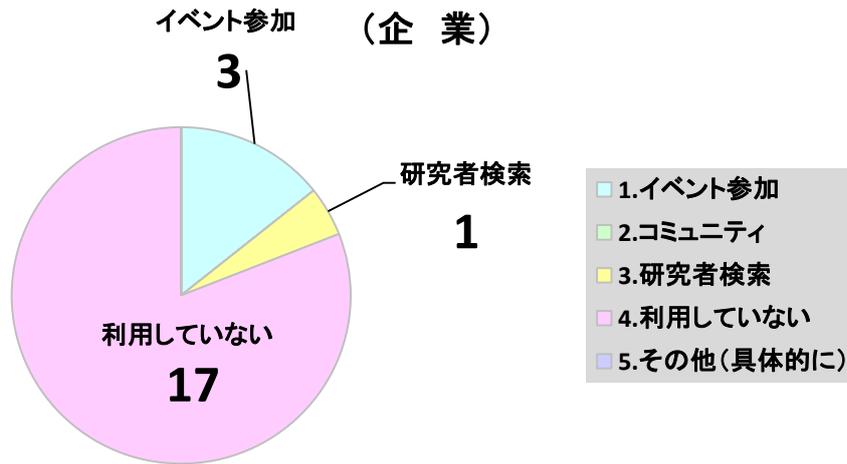
[15] PD・DC採用について(企業のみ)

(企業)



- 1. 定期的に採用したい
- 2. 不定期ではあるが、採用したい
- 3. 採用については未定

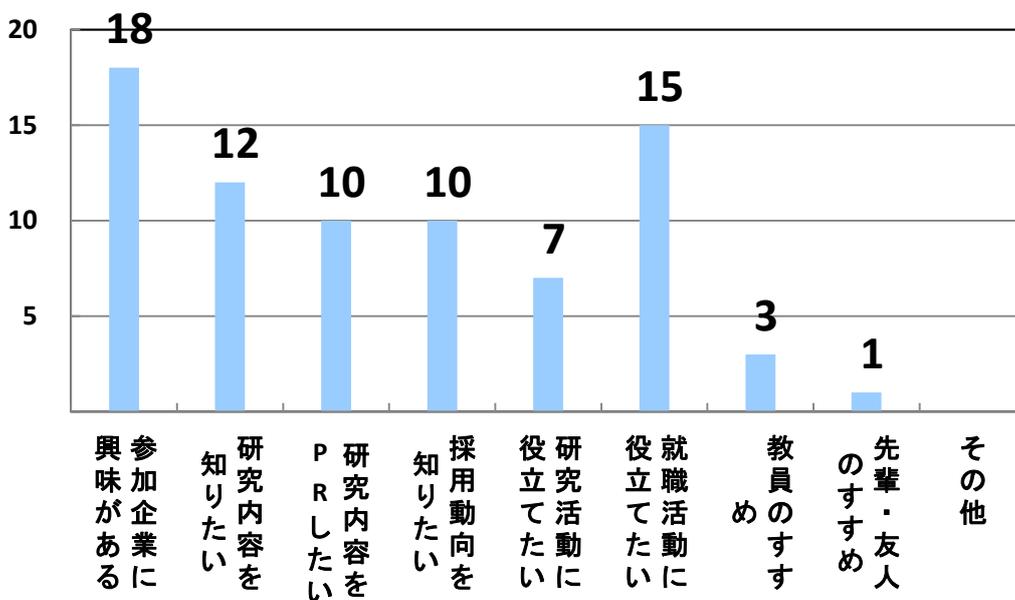
[16]Hi-System(研究者と企業の双方向ネットワーク)はどのように利用していますか？(企業のみ)



[17]「赤い糸会&緑の会」への参加理由(複数回答可)(研究者のみ)

1. 興味のある会社があるから
2. 企業の研究内容を知りたいから
3. 自分の研究内容を企業にPRしたいから
4. 企業の採用動向を知りたいから
5. 自分の研究活動に役立てたいから
6. 就職活動に役立てたいから
7. 教員にすすめられたから
8. 先輩・友人にすすめられたから
9. その他

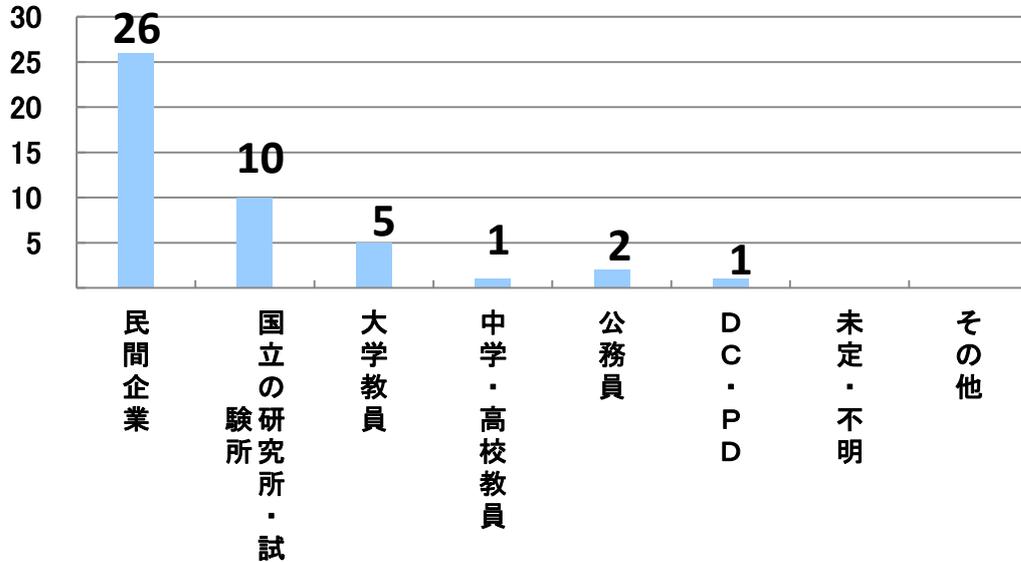
(研究者)



[18]あなたは、今後の自分のキャリアパスをどのように考えていますか？(複数回答可)(研究者のみ)

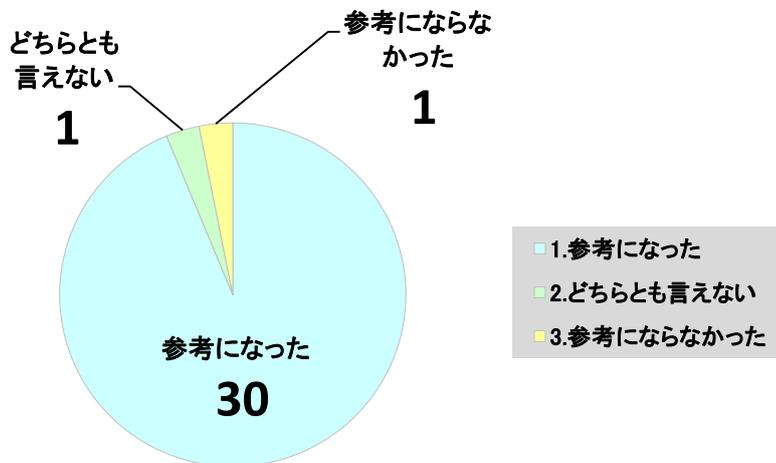
1. 民間企業に就職したい
2. 国立の研究所・試験所に就職したい
3. 大学教員になりたい
4. 中学校・高校教員になりたい
5. 公務員になりたい
6. DC・PDに進学したい
7. 決まっていない・分からない
8. その他

(研究者)



[19]「赤い糸会&緑の会」は、進路決定の参考になりましたか？(研究者のみ)

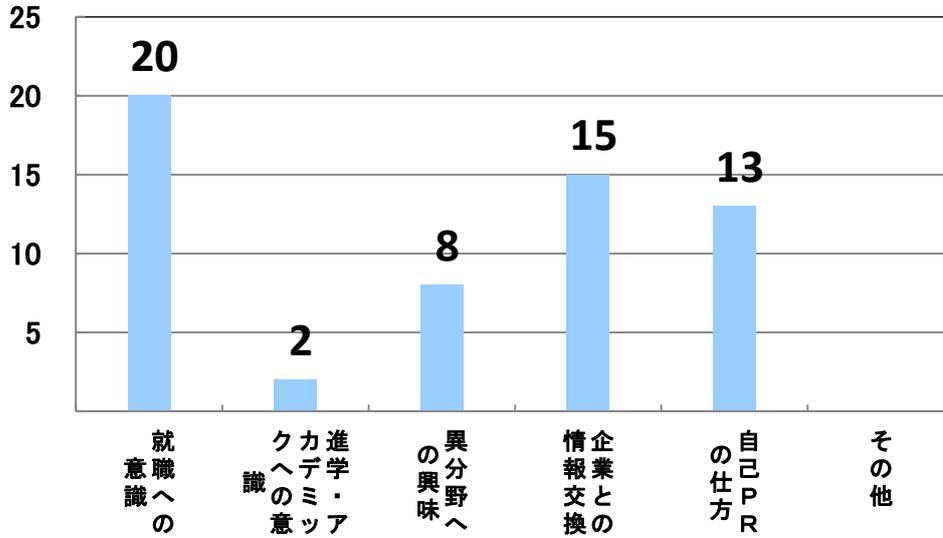
(研究者)



[19-1]参考になった方:どの点が参考になりましたか？(複数回答可)(研究者のみ)

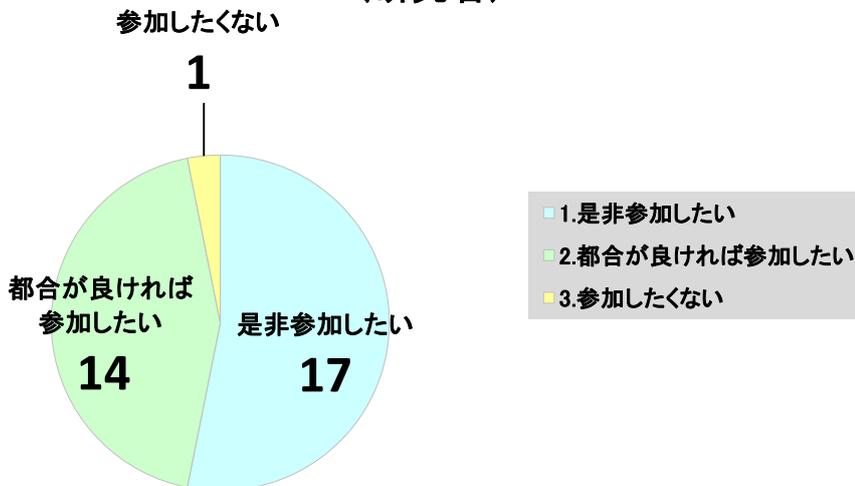
1. 就職への意識が高まった
2. 進学・アカデミックへの意識が高まった
3. 異分野への興味が湧いた
4. 企業と情報交換できた
5. 自己PRの仕方を考えるきっかけとなった
6. その他

(研究者)



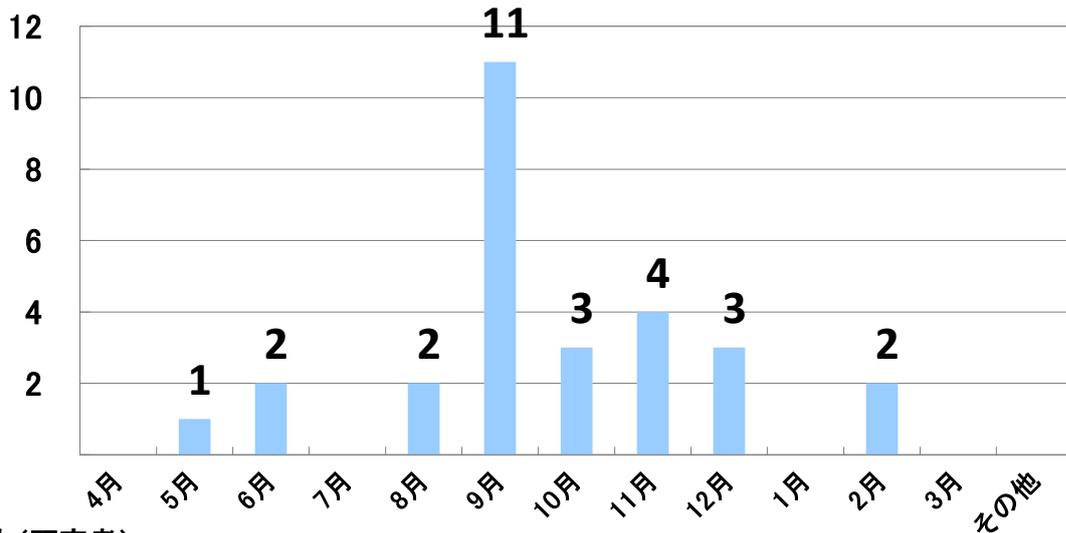
[20]今後も、「赤い糸会&緑の会」を開催する予定ですが、また参加したいと思いますか？(研究者のみ)

(研究者)



[21]「赤い糸会 & 緑の会」の開催時期は何月頃が良いと思いますか？

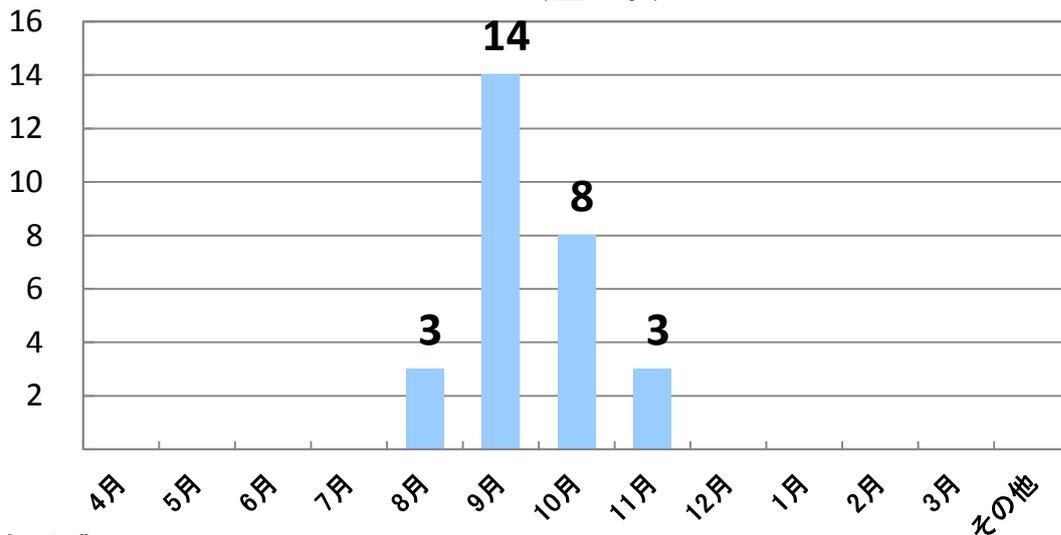
(研究者)



※理由(研究者)

- ・ 早めにアプローチしたいため。(6月)
- ・ 企業のインターンシップ募集の前に行ってほしいから。季節的にもちょうど良い。曜日としては月曜より木・金などが良いと思います。(5月、6月)
- ・ 9月は学会が多いから。(8月)
- ・ 採用活動が始まる前の時期の方が動きやすい。(9～12月)
- ・ 今の時期は口論審査で忙しい。(2月)
- ・ 学会が一区切りする時期のため。(12月)
- ・ 就職活動開始前、且つ夏期就業期間(9月)
- ・ 学会等がなく、忙しくない。(10月)

(企業)



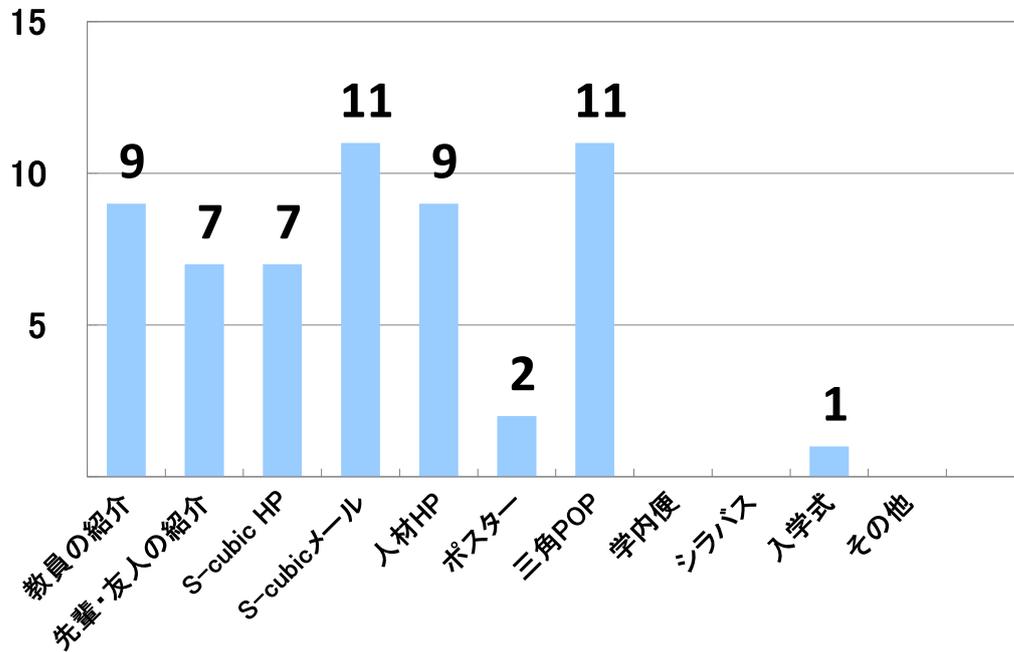
※理由(企業)

- ・ 採用計画への考慮。(9月)
- ・ 採用計画に盛り込むためにはこの時期が良い。(9月、10月)
- ・ 就職活動のピーク期ではないので。(9月)
- ・ 9月は異動の時期なのでその前の方が良い。(8月)
- ・ 定期採用前提の場合は、その成果(広報面)に効果がある。(10月、11月)
- ・ 早期のコンタクトにより、マッチングの向上が図れるから。(9月～11月)
- ・ 就活前のいいきっかけになる気がするから。(10月)
- ・ インターン3月を年内に実施するための準備期間がほしい。(8月)
- ・ 下半期にむけ忙しくなるので、その前が望ましい。(8月)

[22]「赤い糸会&緑の会」の開催について、どのように知りましたか？(複数回答可)(研究者のみ)

1. 教員の紹介
2. 先輩・友人の紹介
3. S-cubic HP
4. S-cubicの案内メール
5. 人材育成本部 HP
6. 研究所・学内の展示ポスター
7. 食堂の三角POP
8. 学内便による案内
9. 今年度のシラバスを見て
10. 大学院入学の際のオリエンテーションでの案内
11. その他

(研究者)



[23]全体を通して、「赤い糸会&緑の会」についての感想など

(研究者)

1	参加して良かったと思います。
2	久しぶりに自分の研究紹介をして、分かりにくくなっている気がしたので、今後(次回)はもっと簡潔に話そうと思いました。また、多分野の人が聞きに来てくれて意見してくれたのが良かった。
3	現実を知り、今後を考える良い機会になった。
4	自分の研究をアピールすることの難しさがよくわかり、大変有意義だった。企業がドクターの学生に求めることが少し分かって、将来を考える上で非常に参考になった。
5	北大での開催だったのでとてもやりやすかった。(ポスター運び等)
6	DC1から参加することはわりと大事であると思う。かなりリラックスして話をする事ができた。
7	前回よりもポスター発表とブースの時間が長かった分、話をする時間があつたのですが、少し集中力が切れてしまう場面がありました。何回か参加していることもあって、少しリラックスした状態で臨むことができました。
8	企業のトーク、ポスター発表、ブース訪問のバランス(時間的)がいいと思う。
9	セッションを30分ずつ伸ばしていただいたおかげで、興味のある企業とほぼ交流することができた。
10	企業のアブストラクトを事前に配布してほしいと思います。
11	今後の就職に向けての参考になった。
12	企業が人材として何を求めているのかがわかりました。
13	アピールの方法について深く考えさせられた。
14	コミュカが必要だと感じました。自分のアピールが難しかった。
15	すごく濃い内容の1日だったと思います。
16	他企業種の事も聞く事ができて、意外な所との接点が見つかり良かった。
17	非常に有意義なセミナーでした。
18	今回も興味を持てる企業があり良かった。
19	今後も参加したいと考えています。

(企業)

1	有用な貴重な機会となりました。
2	非常に一生懸命に自己PRをされていたことが印象的でした。学生・企業双方にとって良いものと考えます。
3	ドクターの場合にはマッチングが重視される。計画が決まってからの時期よりも、あらかじめ人材情報を得た上で採用計画を策定する方が、柔軟に対応がはかれると想定される。
4	普段、博士課程の方との接点はあまり多くないので、非常に参考になった。
5	回を重ねる毎にレベルが上がっていく印象がある。ポスターセッションのアブストラクト配布は良かった。(できれば事前がベスト)
6	地理的に離れている大学と企業の人材情報交流に有意義と感じる。
7	良い機会をいただきました。ありがとうございました。
8	初めて参加致しましたが、企業、学生さん共に質が高く、勉強になりました。また、博士やPD採用の実績に乏しい当社にとって、良い広報の機会となりました。
9	大変興味深く、学生も多く、有意義な時間となっております。
10	とても良い場だと思うが、少し「採る、採られる」という関係性が強いのか、学生のPRが最初から強かった。D2、PDなのだから、もう少し内面から強みを出せるようにしても良いと思う。
11	非常に良い機会だと思います。直接ブースで話す時間がもう少しあると、多くの学生と話せて良いかなと思いました。
12	会の主旨、雰囲気をも十分に理解することができました。今後も継続的に参加させていただきます。
13	今後とも意見交換したいと思います。
14	マッチングの良い機会だと思います。
15	Excitingである。

[24]今後、企業/研究者へ期待すること・要望など

(研究者)

1	発表について助言をくれた企業もあったので、助言を積極的にほしい。
2	興味ありなしの意志表示があれば話しやすい。
3	博士卒を採用して、良かった点と悪かった点を聞きたい。
4	たくさんの企業と交流できることを望みます。
5	もう少し企業の方に来てほしい(人数)。
6	企業の方はあまりアブストラクトを読んでいないように感じたので、可能であればもう少し目を通して来ていただきたいです。
7	具体的な相談がほしいです。
8	今回のように事業内容を詳しく説明していただけたのはとても参考になりました。
9	採用に関して明確にしてほしい。
10	幅広い年齢層の方と話したい。
11	バイオ系の学生を採用してほしい。
12	博士への偏見(負のスパイラル)をなくしたい。
13	博士を積極的に採用してほしい。

(企業)

1	自分の強み、弱みをしっかりと考えることを実行してもらいたいと思います。
2	今年もアンケート記入の時間が無く、焦りました。
3	柔軟性はありつつも、一本芯の通った研究者が欲しい。(マスターとの差を感じられるような人材)
4	口コミで良いので、もっと赤い糸会・緑の会の存在を学内へ広めてほしい。
5	新しい発想。
6	専門外の人に研究の意義を説明する能力を高めて欲しいと思います。
7	専門に拘らず、幅を広げること。
8	実験手法や技術にこだわることなく、広い視野と未来を見据える力を養ってください。
9	「自分の専門性」について考えること。大事なのは分野ではなく、そのプロセス(だと思います)。就活を楽しむこと(せっかくだので)。
10	異分野であっても、もっと気軽に説明を聞いてもらえたらと思いました。
11	とにかく、研究にしっかり取り組んでほしい。
12	ビジネス+社会貢献に目を向けてほしい。
13	社会活動ができる人間形成も忘れずに。期待してます。

[25]S-cubic、HoP-Stationへのご意見・ご要望など

(研究者)

1	運営がうまく、ストレスがないので、イベントに参加しやすい。
2	お世話してくださってありがとうございます。もう少し知名度が上がれば良いと思います。
3	ブースを訪問する時間が足りないと思いました。
4	良い機会をありがとうございます。

(企業)

1	今後ともよろしく願います。
2	今回は、どうもありがとうございました！！